

ほほえみ

臍帯血移植に支援ソングが出来たということで、タイトルは「君の笑顔」歌手の瀬藤正則さんが作詞をして歌っています。

うつむかないで君の笑顔を待っている人がいることを忘れないでほしい
人は一人じゃ生きていけない
生きる力と優しさをみんなで伝えよう 君の笑顔にもう一度出会えるその日まで

曲はバラード調で親しみやすいメロディ。

東京臍帯血バンクではこのCDを販売し移植への理解を深めてもらうと同時に収益を運営資金に充てたいということで、1枚1000円以上で販売されます。

申し込み、問い合わせは東京臍帯血バンク
電話 03-3486-0303

<第62回 ほほえみの会>

残暑厳しい中10人が参加しました。

今回は、大人の患者の会が県内にないので作りたいという金谷町の鈴木さんも参加されました。

入院して3ヶ月。3回の治療をしたにも関わらず経過が思わしくなく、9月に別な病院で手術を受ける。

親の心配はつきないが、腫瘍の発達を止めるためにもプロポリスなどの民間療法を取り入れたいがどうだろうかとの話がありました。出席された方からは、子どもが病気になった時周りから健康食品や薬、それに宗教を勧められた。一時服用したが尿検査に異常値が出たためにやめた。

また、先生に民間療法について聞いたら効果があるなら病院でも取り入れているという答えだった。などの話が出ました。

小3の男の子。退院して1年になり定期的な検査で通院をしているが、本人が非常に神経質で検査をいやがる。検査の日を指折り数え、前日には熱を出してしまう。体調が悪い中の検査で結局再検査となってしまう。

マルクなど本人にとっても辛い検査でしょうが、子どもの気持ちは親の気持ちに移ることも多いようです。親がまず大きな気持ちをもたれたらどうかという意見もありました。

日本では無認可の薬を使うかどうかで非常に迷っていた時、先月の会報を見たら「インフォームドコンセント」の話が載っていた。そこで勇気を出して先生に話を良く聞いてみた。それでも理解できず改めて看護婦さんを通じて先生に話をとことん聞いた。

結局その薬を使うことにしたが、先生の話に納得した上で薬を使ったことに対して満足している。

先生とよく話をして良かった。が、こうした困った時にどこに相談して良いのかわからない。とのことでした。

「のぞみの会」の本部ではソーシャルワーカーや医師が相談にのってくれます。親身になって答えてくれますので困ったときにはどうぞ。

電話は03 - 5228 - 6106 FAXは5228 - 6107

会費の納入を先月お願いしたところ早速皆さんから送っていただきました。また松永さんをはじめ多くの方から沢山の寄付を頂き感謝しております。ありがとうございました。

次回は9月10日(日)11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一